学校番号	３１８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プリントなど						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的な事項の定着を図るとともに問題演習を行う。
演習問題は入試問題も取り上げ、実戦的な力の育成も図る。

2　学習の到達目標

２年までの理科の学習内容を基にして、自然現象に関する知識を深め、探究して考察する力を高め、環境問題などの社会問題を自ら考えることができるように、主に生物分野の内容について、演習を通じて理解を深め、理科的な思考力をつけさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理･原則を理解し、知識を身に付けている。また、自然の事物･現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	実際の演習問題を通じて、生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、問題演習を通じて、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生態系	植生と遷移 生態系とその保全	a:植生の遷移についてその過程を理解している。 地球上には、気温や降水量ごとに様々なバイオームが成立していることを理解している。生態系における種多様性、生物どうしの関りあいについて理解している。 b:植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。生態系と生物の多様性に関する資料や問題などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 c:生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解しようとする。生態系のバランスについてや生態系の保全することが重要であることを理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動
	生態系	生態と環境 個体群と生物群集 生態系	a:生態系における種多様性、生物どうしの関りあいについて理解している。環境と生物との関係について理解する。生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。 b:生態系と生物の多様性に関する資料や問題などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。生態系と環境や生物多様性の仕組みを科学的に見出すことができる。 c:生態系のバランスについてや生態系の保全することが重要であることを理解しようとする。 生態系と環境の仕組みを総合的に理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動

2学期	生物の環境応答 生物の進化	植物の環境応答 生物の系統	a：植物の配偶子形成と受精，胚発生と種子の形成，花器官の分化について学ぶ。 b：資料や問題に基づき、植物の環境応答の仕組みを科学的に見出すことができる。 c：植物の環境応答の仕組みを総合的に理解しようとする。 a：生物の系統を学び，生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。 b：資料や問題をもとに、生物の系統について共通する性質を見出し表現することができる。 c：様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性を持っていることを見出して理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動
	生命現象と物質 遺伝情報の発現	生命と物質 代謝 遺伝現象と物質 バイオテクノロジー	a：生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 b：資料や問題をもとに、呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 c：資料や問題に基づいて、体内で行われている化学反応は、酵素がかかわっていることを理解しようとする。 a：DNAの構造，遺伝情報の複製･転写･翻訳のしくみ，そして遺伝子発現の調節を学ぶ。 b：資料や問題に基づき、ＤＮＡの構造や発生の仕組みを科学的に見出すことができる。 ＤＮＡの複製やバイオテクノロジーを関連付けて説明することができる。 c：ＤＮＡの性質や構造を、ＤＮＡの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、ＤＮＡの関係について理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動

3学期	ヒトの体の調節	情報の伝達 体内環境の維持のしくみ	a:体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 b:恒常性により、体内環境が保たれていることを考察することができる。体の調節に関する問題演習で、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出して理解することができる。 c:外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度